

# 大牟田市立松原中学校

## 1 本校のESDの特徴

本校のESDの取組は、SDGsを意識して地域に根ざした活動を通して、問題解決につながる価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会づくりの担い手となる生徒の育成をねらいとしている。そのためにESDで身につけさせたい能力・態度を育てるために、1年「福祉学習」、2年「地域探求学習」、3年生については「進路学習」を主のテーマとして、各学年で特徴のある取組を行っている。

しかし、本年度はコロナ禍により、1年の福祉体験（高齢者疑似体験、福祉施設訪問）、2年の地域探究活動（大牟田の世界遺産や史跡の見学、環境・エネルギー施設や伝統地域文化や祭りを継承する人や産業・観光に関わる人の訪問）、3年の職場体験学習が実施できなかったため、例年に比べて縮小した形の取組となった。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

1 学年「福祉学習」	2 学年「地域探求学習」	3 学年「職場体験学習」
<b>【7月】</b> ○オリエンテーション	<b>【7月】</b> ○オリエンテーション	<b>【7月】</b> ○オリエンテーション
<b>【8月】</b> ○バリアフリーの学習	<b>【8月】</b> ○大牟田の現状と課題発見	<b>【8月】</b> ○高校調べ
<b>【10・11・12月】</b> ○認知症、高齢者についての学習 ○高齢者にやさしい町づくり方策の提案	<b>【10・11月】</b> ○探究活動の計画	<b>【10・11月】</b> ○進路学習の計画、実施 (卒業後の進路選択&決定に向けた取組)
<b>【1月・2月】</b> ○職業調べ	<b>【12月】</b> ○環境施設見学と調査活動	<b>【12・1・2月】</b> ○進路実現に向けた取組
	<b>【1月】</b> ○大牟田の街づくりプラン作成	
	<b>【2月】</b> ○進路学習	

## 3 特徴的な活動事例の紹介

### 2 学年「地域探求学習」

#### (1) ねらい

大牟田の現状を知り、大牟田が抱える課題を見つけ、その課題を解決する方法を考え、解決方法をもとに大牟田の未来について興味関心を持って行動することができるようにする。

#### (2) 学習課題

自分たちが一生涯生活したいと思う大牟田市になるための方法を提案しよう。

#### (3) 取組

ハウステンボスの環境施設見学や調査活動を通して、環境にやさしい街づくりについて考えを深めた。大牟田のよいところや課題を明らかにし、各自が目指す大牟田の実現に向けた提案を考えた。



1 学年「福祉学習」(認知症についての理解, 高齢者との接し方について)

(1) ねらい

講師の話を通して, 認知症や高齢者との接し方についての理解を深め, 地域社会の一員としての自覚を持ち, 持続可能な社会のために自分にできることを考え行動することができるようにする。



(2) 学習課題

講話や絵本教室による福祉学習を振り返り, 高齢者の不自由なことや不便なことに気づき, 高齢者にとって住みやすい・やさしい町づくりの方策を考えることができるようにする。

(3) 福祉学習の取組

段階	学習活動・内容	留意点
オリエンテーション	(1) 福祉体験学習についてのオリエンテーション	○今後のスケジュールを確認させる。
事前学習 ・情報収集 ・整理分析	(2) 「介護とは何かを考えよう」	○DVDの視聴を通して, 介護の現状と課題を知り, 課題を見いださせる。
講 話	(3) 講話, 絵本教室による「認知症の理解と高齢者との接し方」	○講師を招聘し, 認知症や高齢者についての理解を深めさせる。
事後学習 ・整理分析 ・振り返り	(4) 「講話や絵本教室を通して学んだことをまとめよう」  (5) 「高齢者にやさしい町づくりの方策」を考えよう。 ・福祉声かけ隊を結成する ・高齢者への正しい理解を発信する ・GPSを活用する	○話の内容とそれについての感想などをまとめる。  ○高齢者にやさしい町づくりについて自分たちにできることを考え行動する。 ・笑顔であいさつをすることを推進し, 広報活動をさせる

<活動の様子>

福祉学習



環境設備見学



進路学習



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・活動は限られていたが, 各学年のテーマを通して, 大牟田のよりよい未来について考え, 主体的かつ継続的に参画させることで, 一人ひとりが社会の様々は課題を自分事として捉え, 自分なりに考え, 身近なことから行動できる人, つまり持続可能な社会を拓く担い手となるんだという自覚が必要であることを意識させることができた。
- ・1 学年は, 有明高校福祉科の今畑翔弥先生による「認知症や高齢者との接し方について」の講話を通して, 福祉について理解を深めることができた。

○課題

- ・体験活動が実施できなかったことにより, 生徒自身が大牟田市の課題を意識することが十分できなかった。来年度も体験活動が実施できない場合を想定して, 地域の人材を活用したり, 資料を選定したりして, 自分事として課題を捉えることができるようにする。